

経済学部24チーム
125名の熱戦

先鋒

立論人

「伝える」
プロフェッショナル。
自分の主張を分かりやすく簡潔に伝える。
ここで強固な主張ができるかどうかで試合が大きく左右される。伝える技術で右に出るものなし。

次鋒

応答人

「理解」
プロフェッショナル。
自分たちの主張を誰よりも理解し、どんな質問にも的確に端的に答えていく。
冷静沈着に、だが着実に守りの陣を整える、まさに守護神。

中堅

質問人

「叩く」
プロフェッショナル。
相手の立論の不明確な点を言及する。
お互いの不理解を排除し、正々堂々とした勝負にする。敵を知り、己を知れば百戦危うからず。分かりやすい議論は、彼の腕にかかっている。

副将

反論人

「思考」
プロフェッショナル。
根拠は正しいか、論理は一貫しているかを、鋭い思考で相手の矛盾を一挙に叩く。
データと論理力を武器に一気に攻め入る。正しい議論を生み出す豪傑。

大将

総括人

「交渉」
プロフェッショナル。
互いの議論を、整理・比較し、どちらが優れているかを主張する。
複雑に絡み合った論理を美しくまとめ上げ、時には起死回生すら起こす天才仕事人。

実は、
チーム戦。

全5役

5人で通す1つの主張

同志社大学経済学部・経済学会主催

ディベート大会2012

観戦のご案内

開催日 7月14日(土) 10時~決勝トーナメント(本選)開始
2012年 15時~決勝戦開始

場 所：今出川キャンパス 寧静館31番教室
論 題：「日本はすべての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か」
出場者：経済学部生

【事前申込不要・入場無料】